

日本バイオアッセイ研究センター正職員（試験管理部動物管理室）募集要項

1 日本バイオアッセイ研究センターについて

- (1) 所在地：神奈川県秦野市平沢2445番地
- (2) 設 立：昭和57年4月開設。平成28年4月より独立行政法人労働者健康安全機構の試験研究機関となり現在に至る。
- (3) 職員数：32名
- (4) 業 務：優良試験所指針（GLP）（安衛法・化審法）に適合した試験施設として、ラット、マウスを用いた毒性試験（全身ばく露吸入、経口）を行っている。また、ラット、マウスや培養細胞等を用いた毒性研究を実施している。

2 募集人数

募集人数は1名、応募者は以下4の要件を満たすこと。

3 業務内容

当研究所では、人に対してのばく露が懸念されるガス状あるいは揮発性化学物質、ナノ材料を含む粉塵、農薬等について、優良試験所指針（GLP）に基づく様々な毒性試験を実施している。なお、実験動物を用いたGLP試験が実施可能な全身吸入ばく露装置を有する、国内唯一の施設である。

試験管理部では、吸入ばく露、経口投与等による各種毒性試験、長期がん原性試験、遺伝子改変動物等を用いる中期発がん性試験等を実施している。また、ナノ材料を含む粒子状物質などの毒性研究も行っている。

動物管理室は上記毒性試験の動物飼育、観察、各種投与（強制経口投与、腹腔内投与、皮下投与等）を実施している。

採用予定者は、この動物管理業務を担当する。

4 学歴、資格等

- (1) 令和2年3月に獣医学科卒業見込み（獣医師免許取得見込み）である者。又は令和2年3月に大学院を修了見込み（獣医師免許取得者）である者。或いは、獣医師免許を有し、博士の学位取得者又は同等の能力を有する者。
（なお、獣医師免許取得見込みの者については、令和2年3月までに免許を取得できない場合は、採用資格を失います。）
- (2) 動物飼育施設における実験動物（主にげっ歯類）飼育の経験を有し、さらに毒性研究又は毒性試験を主体的に実施した経験を有することが望ましい。
- (3) 厚生労働省所管の試験研究機関における試験・研究の意義及び責務並びに行政対応業務に対する理解及び意欲を有すること。
- (4) 国内外に研究成果の発信ができることが望ましい。

5 提出書類

- (1) 履歴書（市販の横書き履歴書用紙又はそれに準ずる様式のものに高等学校卒業以降の経歴を記入し、写真（6か月以内に撮影）を貼付すること。）なお、記入は自書とすること
- (2) 現在までの動物飼育実績概要（A4用紙で2枚程度）
- (3) 研究実績目録（主な学会発表を含む。）及び主要論文別刷又は写し（5編以内）
- (4) 将来への抱負（陳述書）（2,000字以内）
- (5) 獣医師免許証の写し（免許取得者）。取得見込みの者は、合格後ただちに合格を証明する書類を提出すること
- (6) 最終学歴を証明するもの（卒業証明書、卒業見込証明書等）、学位記（写し）又は学位を証明するもの
- (7) 着任時期について希望がある場合は、その旨を記載した書類
※各書類が複数枚になる場合はクリップ止めにすること（ステープラは使用しない）。
※（2）～（4）、（7）は様式自由
※応募書類は返却しない

6 応募締切

令和2年2月28日（金）（必着・締切厳守）

7 選考採用試験

- (1) 書類選考：令和2年3月上旬
- (2) 面接：令和2年3月中旬
※面接試験には、15分程度のプレゼンテーションを含む。
※面接試験の実施場所は、書類選考に合格した者のみ以下10の担当者から連絡する。

8 採用時期

令和2年4月1日

9 待遇

日本バイオアッセイ研究センターの正職員として、同就業規則、同給与規程に基づき処遇する。賞与年2回。通勤手当月5万5千円まで支給。扶養手当、住居手当、地域手当あり。業績評価制度により昇進、降格並びに賞与額が決まる。36協定あり。厚生年金、企業年金基金（確定拠出年金）、組合健康保険、雇用保険、労災保険、厚生会（任意加入の福利厚生組織）完備。退職金制度あり、定年60歳、健康状態、勤務成績により65歳まで嘱託職員としての雇用継続制度あり。小田急線秦野駅、センター間の送迎バスあり（秦野駅南口発8：40、センター発 17：05、18：05）。

